

<報道発表資料>

2016 年 9 月 1 日

## 富士山測候所は 9 月 1 日に閉所し、63 日間にわたる夏期観測活動を終了しました！

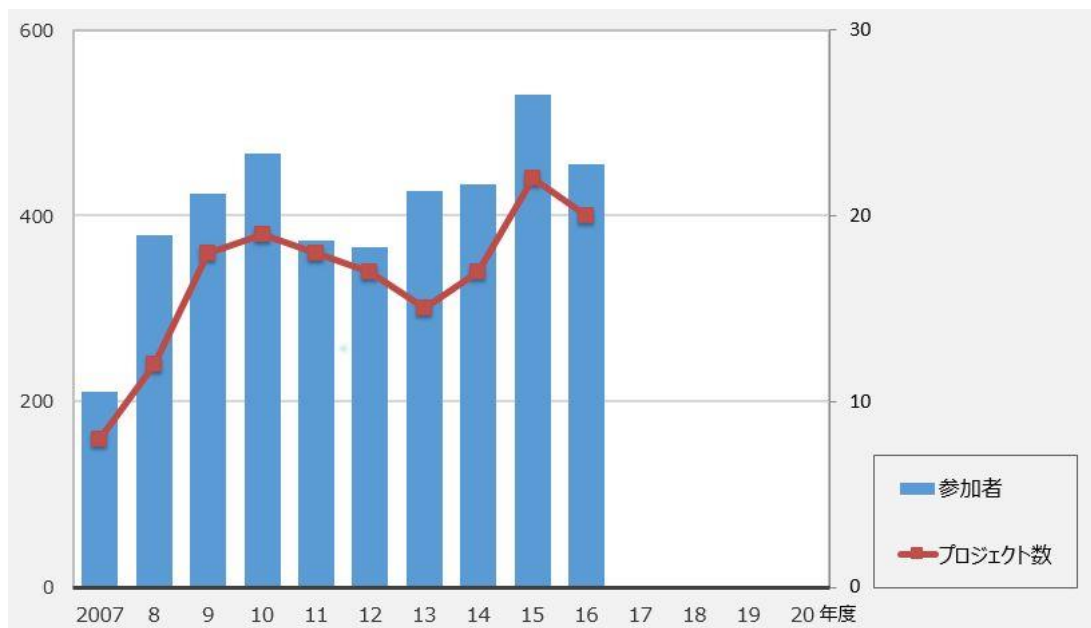
認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会は、9 月 1 日（木）10:25 に富士山測候所の商用電源を切断し、閉所しました。10 年目の夏期観測となった今年は、過去最長の 63 日間の観測期間に 21 プロジェクト・延べ 456 人が参加しました。

NPO 法人富士山測候所を活用する会は、気象庁から富士山測候所庁舎の一部を借り受け、毎年 7 月・8 月に公募で選ばれたグループの研究・活用に提供しています。10 年目となった今年は、21 事業（継続 16 事業、新規トライアル利用 5 事業）のほか、助成を受けて行う自主事業が 4 件ありました。なお、延べ利用者数は対前年比 14%減の 456 名でした。

トピックスとしては国際的なプロジェクトが 2 件（東京農工大学と台湾国立中央大学による大気中水銀・エアロゾルの研究、埼玉県環境科学国際センターが中国、韓国との同時観測による PM<sub>2.5</sub> の長距離輸送の解明）実施されました。また、昨年からはじめた学生公募では学生の自主的プロジェクト運営による Fuji-Sat プロジェクトが、今年も富士山測候所に人工衛星と同様の機能を持つ実験装置、模擬衛星を設置し、運用・観測実験を行っています。

助成による自主事業では、「地球環境保全に向けた富士山測候所の戦略的活用」（2013 年度三井物産環境基金）による環境に負荷をかけない自律的運用や教育活動の支援、「富士山測候所の被雷対策による温室効果ガス常時監視の実現」（トヨタ環境活動 2015 年度助成）による落雷サージ電圧の侵入を防ぐ技術開発、「地球環境観測拠点としての富士山測候所の労力提供型整備事業」（2016 年度年賀寄附金）による自然エネルギー・屋内太陽光パネルを使用した通年観測データ取得の監視・チェック、「地球環境問題を学んでもらうプロジェクト」（2015 年度ドコモ MCF）による山頂から大気科学専門家によるレクチャー動画配信、などを実施しました。

夏期観測の研究成果につきましては、9 月から H P 上で順次速報するほか、2017 年 3 月開催予定の第 10 回成果報告会で発表する予定となっております。



夏期観測の参加プロジェクト数と参加者数の年度別推移